



発行所

北東白石まちづくり協議会
地域情報広報委員会
札幌市白石区北郷3条12丁目4-1
北都地区会館
TEL 011-875-3077
FAX 011-875-7969

敬老の日・100才今を生きる

東川下大田原宅・稲場アキエさん

「敬老の日」を考える・・・

敬老の日は国民の祝日として多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うことを趣旨とし毎年9月15日を「敬老の日」と定めていたが、平成13年の祝日法改正でハッピーマンデー制度の実施によって9月の第3月曜日に移すことが決まり、平成15年より現在に至っています。

この頃から敬老の日も、経済効果を狙った商戦にすり替ってしまったかの様に思われてなりません。

一方、年々高齢者と言われる65才以上の人口は今年3,461万人と過去最高を更新したそうです。

そのうち、後期高齢者者医療制度の対象となる75才以上の人口は1697万人、職に就いている高齢者730万人と12年間連続で増え、これも過去最高を更新。約半数の360万人が企業などに雇用されていて、このうち267万人がアルバイト、パートと言った非正規雇用だそうです。

高齢者の社会活動に積極的に参加している事は要介護のリスクが低下する傾向や、就業活動や地域活動が活発な地域であると言えます。

老化のスピードは変えられるので、出来るだけ緩やかにすることが大事です。

問題は、高齢期に身体状態が悪くなると諦めて、何もしなくなり生活が不活発になることです。

健康か寝たきりかの両極端な考えにとらわれたり、出来ないことを嘆いたりすることではなく、自分が出来ることを楽しんで生き生きとした暮らしが持てるかが問われます。

毎日の生活に張りを持ったり、生きがいを感じたり、日々の中で楽しみを見つけるような生活が長寿社会の中で暮らして行く秘訣かもしれません。誰でもが輝ける長寿社会のために。



平成28年9月16日14時に可児白石区長が川下5条2丁目の大田原勝美さん宅を訪れた。

同居している稲場アキエさん（奥さんの母）の100才のお祝いに、内閣総理大臣より賞状と銀杯、札幌市からはひざ掛けが贈られました。

アキエさんは大正5年8月30日、南幌町で生まれ、今年100才になりました。白石区内で今年100才になった人は36人いて、その代表として区長がお祝いを届けて下さいました。

本人はまだまだ元気で、玄関まで区長をお迎えしたり、内閣総理大臣よりお祝いを戴いたと、深く感激し感謝の言葉を述べておりました。

北東白石には、まだ、100才になった川北の北村花さんや、同じく102才になる今野ミサさんなどお元気な方がおられます。

家族の愛に囲まれながら元気に暮らせるのは本当に幸せな事ではないかと思えます。

地域の中でも多くの高齢者を尊敬の念で見守ることが出来たら、きっと幸福度の高い地域となるのではないのでしょうか。

敬老の日を、家族でも今一度話し合う日として見直してはいかがでしょうか。

北の郷里 (きたのこうり) **名前の由来** 郷とは昔、郡内の一区画で数村をあわせたもの。郷里(こうり)とはその最小単位をあらわしていて、小さな「むらざと」を意味します。郷里(こうり)は近代においては郷里(きょうり、ふるさと)と呼ばれています。白石区には郷が三つあります。南郷、本郷と北郷です。ここから「郷」を一宇いただきました。北は白石区の北東、北海道の北の文字、日本の北を示し、郷里は我が大地、むらざと、ふるさとを示します。地紋は郷土の稲穂です。

「北の郷里」は北郷を連想させる名でもありますが、「日本の北のふるさと」との大きな意味を持たせながら、地域にあっては「ぬくもりと優しさに満ちたまちづくり」を目指します。

「七夕の集い」に参加して

北東白石連合町内会には、町内会をはじめ地域内の様々な団体で構成されている「まちづくり協議会」があり、その中の一つ「世代間交流委員会」が中心となって第15回目の七夕の集いが8月7日(日)川北小学校体育館で開催されました。

毎年8月7日に行なわれる七夕の集いですが、今年は、日曜日ということもあって例年より参加者が少なかったようですが、それでも300名を超える子どもたちが来場し、思い思いに短冊に願いごとを書いて笹竹に結んでいました。少子化と言われる昨今、大人から子どもへ伝統を上手に伝えていてとても和やかな気持ちになりました。

七夕の集いの成功の裏には、各委員が、今まで

の反省を踏まえ、当日に向けて幾度となく真剣な議論を積み重ねているからこそ、素晴らしい取り込みが、生まれるのだと強く心にしみました。今後も未来を担う子どもたちのために「七夕のつどい」を続けていっていただきたいと思います。



第30回東川下地区ふるさと祭り

当日は、早朝から会場づくりにおおわらわでしたが、順調に事は運び、タイムスケジュール通りに祭りが進行していく様は、お見事です。

子どもみこしが、町内を練り歩いて会場へ登場する頃には、観客も徐々に席を埋め、ステージ上で繰り広げられるショーを楽しみにする一方、ビンゴカードを買ったり、出店の品定めをする家族連れだったり、若いカップル、友人同士、ペット連れもいてそれぞれ自由なスタイルで楽しんでいました。

何といっても最大の楽しみは、ビンゴゲームとお楽しみ抽選券で当たりが出るか否かのドキドキ感に興奮するようです。



東川下盆踊り大会

東川下町内会第38回盆踊り

今年も、8月13日(土)・14日(日)の両日、東川下町内会の夏の夜の風物として定着。

会場から聞こえてくる音に引き寄せられるように集まった人達は、樽太鼓で音頭取る臨場感に気分も乗せられ踊るもよし、出店の焼き鳥片手にビールを飲むのもよしと、大勢の人出で賑わいました。



8/14.東川下仮装盆踊り

青少年を見守る店・登録推進運動

「青少年を見守る店」登録推進運動行う

北東白石地区青少年育成委員会・北都中学校区青少年健全育成推進会では、「広げよう 子どもを見守る社会の輪」「育てよう 子どもの心に思いやり」「進めよう 子どものための環境づくり」のスローガンのもと、子どもたちの健やかな成長を願い、家庭・地域・学校が相互に協力しながら、地域一体となって子どもたちを見守り、心豊かな青少年を育む運動を、北東白石地区内で行っています。

その一環として、8月21日(日)「青少年を見守る店」登録推進運動を行いました。「青少年を見守る店」とは、子どもたちに悪影響を及ぼすようなものは、「売らない」「見せない」など、子どもたちが、健やかに暮らせるまちづくりに、ご協力していただくお店です。

現在、137軒のお店が登録し、ステッカーを貼って頂いています。

今回、一緒に同行して下さった学校の先生たちも、お店での実態を知ることが出来、また、地域が子どもたちを見守っている事は、とても心強いと述べておられました。

私たちは、これからも、随所で子どもたちを見守っていくことを、責務として活動してまいります。



第12回 防災体験お泊まり会開催する

9月3日(土)PM2:00~、4日(日)AM10:00。北東白石地区子ども会連絡協議会主催で開催されました。59名の子どもたちとスタッフ約20名で一泊2日を過ごしました。今回初めて、白石区防災センターへ交通機関(バス)に乗って行きました。子どもも、スタッフも初めての参加者が多く戸惑う場面もありました。



今まで体験した(消火器体験・煙体験)その他に、新たに、地震・暴風・災害バー

チャル体験を防災センターでしてきました。北都会館に戻って、「171」「防災グッズ」「ろうそく体験」「暗闇体験」「警察署員による勉強会」「非常食」「皆の前での発表」「親から離れてのお泊まり」など、沢山の経験を体験し、大きく成長してくれたことでしょう。

子ども達の心に残るお泊まり会を目指しておりますが、まだまだ力が及ばない面もありましたが、皆様の激励のお言葉、ご支援、ご協力を頂き無事終了することができました。ありがとうございます。今後も子どもたちの成長を見守りながら頑張っていきたいと思います。

北海道の短い夏を謳歌

北都秋祭り(子どもみこし) 町内を一周する
北都町内秋祭り(子どもみこし) 実行委員会を立ち上げ開催しました。

9月22日天候に恵まれ180数名(内子ども90数名)が参加しました。山車(太鼓)、子どもみこし、町内みこし、囃子太鼓、獅子の行列の順で3時間にわたり町内を一周しました。

今回初めてメインストリートとなる北13条通りを歩き、町内の人々の暖かい声援で、誰一人の脱落もなく無事楽しく終了致しました。

その後、青少年部が主体となり、かき氷・バルーンアート・ビンゴゲーム等で楽しみました。



進行も町内の大学生や高校生の協力をいただき、老若を通じて地域力を発揮した北都秋祭りだと思いました。

H28年北東白石ふれあい遠足&凧揚げ会

平成28年9月24日(土)北東白石地区社会福祉協議会とまちづくり協議会の地域活性化委員会との共催で遠足をおこないました。北都会館を9時30分出発、子どもたちと一緒に川下公園までのみちのりを歩きました。川下公園では10:00より開会式、参加者全員に凧がプレゼントされ、風が弱い中、うまく風を捉え、凧は、巻き糸いっぱい高く揚がりました。お昼は、豚汁が出て、持参のおにぎりが一層おいしく楽しい会が終了しました。参加者100名余。



H28年 北東白石合同防災訓練開催



北東白石連合町内会で毎年行っている合同防災訓練。まちづくり協議会、白石消防署、消



防分団の協力をえて各町内会ごと隊列を組んで集合いたしました。200名以上の参加者が各班に分かれ6つの訓練項目を熱心に行っておりました。

実際の放水体験

H28 介護予防講座の開催

北東白石地区介護予防講座が今年度は東川下記念会館を会場に平成28年9月9日(金)13:00~開催されました。血管年齢、脳年齢、骨密度など普段測れない測定も行いました。今回は、各町内会の会館を送迎バスが運用され、過去最高の84名の参加者でした。



・・・ ちよっといい話 ・・・

北都中学校生徒によるゴミ拾い

平成26年に生徒会の方から校区内のゴミ拾いをやろうじゃないかとの提案があり、以来、毎年、希望者を募り実施することとなった。

今年は9月1日(木)の放課後3時半頃より1時間位通学路を中心に108名が参加、10名程で何か所に分かれて行っている。

みんなのさわやかな笑顔は地域の人にも伝わり、学校にも感謝の電話があったそうです。

過去にも冬のゴミステーションの除雪ボランティアをかってでた事が有ります。



小さなことも継続してくると大きな力となります。生徒会の皆さん、又よろしくね。

地域でも、皆さんに負けずと、きれいなまちにしますから。(写真：北都中HPより)

連町主催パークゴルフ大会

第18回目を迎える北東白石連合町内会長杯パークゴルフ大会は、健康増進と地域の親睦を兼ね、多くの皆様に親しまれる恒例行事として、9月22日(木)秋分の日に厚別川河川敷パークゴルフ場で開催されました。

当日は58名のプレイヤーの皆さんが集まり元気いっぱい、和やかに楽しんでいました。



男性の部の優勝は松浦和義さん、準優勝は渡辺雅紀さん、女性の部の優勝は鈴木トシ子さん、準優勝は田代 萩さんです。関 紘一連合町内会長からそれぞれ優勝、準優勝カップを授与されておりました。おめでとうございます。

行事予定案内

行事	開催日	時間	場所
北東白石地区青少年育成懇談会	10月18日	18:30~	東川下記念会館
北東白石地区社会福祉協議会30周年記念式典・祝賀会	10月22日	13:30~	北都地区会館
北都小学校学習発表会	10月22日	9:00~	北都小学校
川北小学校学習発表会	10月23日		川北小学校
北東白石地区社会福祉協議会入浴ツアー	10月27日	9:00~	長沼温泉
北都祭	10月28日		北都中学校
北白石地区センター第30回文化祭	10月29日	10:00~	北白石地区センター
	10月30日		
白石区複合庁舎・白石郷土館	11月7日	オープン	地下鉄白石駅直結
東川下小学校学習発表会	11月12日		東川下小学校
北東白石連合町内会30周年記念式典・祝賀会	11月12日	11:00~	北都地区会館
白石区複合庁舎完成祝賀会	11月17日	16:30~	新庁舎5階区民ホール
4校交歓音楽会	11月21日	14:00~	北都中学校
市民講座	11月18日	13:30~	北都地区会館
一日地域の茶の間	11月19日	10:00~	北都地区会館
白石区ふるさと会設立40周年・白石郷土館開設記念式典及び祝賀会	11月26日	14:00~	白石区複合庁舎5階

北海道社会貢献賞 受賞

北東白石地区民児協副会長の大西照代さん(北都町内在住)が先般、北海道社会貢献賞(知事表彰)を授与されました。おめでとうございます。

―― 編集後記 ―――

◆今回一面に載せました「敬老の日」に考えさせられる事も多く、長寿を意識したのは、金さん、銀さんがテレビCMに出演しているのを見て衝撃を受けたのを覚えています。「100歳になるとアイドルになれるんだね」と思った。あれから何年経ったのだろう。白石区では、今年36人が100歳を迎えられたと聞いて、長寿が身近に感じられました。健康寿命を延ばすような取り組みが社会福祉協議会・包括支援センター・介護予防センターなどで行われていますのでシニア族としては、心に留め実践あるのみです。◆最近、なるべく医療や介護のお世話にならず、いつまでも輝き続け、健康寿命を全うし、人生の美しい締めくくりを目指すシニアを「プラチナシニア」と呼ぶのだそうです。目指せ プラチナシニア!、輝け プラチナシニア!。◆人生はいつだってこれから~100才健康長寿のためのプラチナライフを目指して!~ プラチナシニアになるための10ヶ条あります。広報委員会までお問合せを。◆北東白石連合町内会では、発足30周年記念事業を式典部会・記念誌部会に分けて準備中です。